

**今回の紹介地区 No.021 福島県 会津若松市 笹山原地区**

**耕作放棄地再生利用緊急対策を活用した事例**

**状況**

地区概要：農地面積 34.0ha、うち耕作放棄地 2.13ha

放棄の理由：水はけが悪く、石礫が多いことによる土地条件の不良、高齢化等による労働力不足等

荒廃の程度：雑草の繁茂に加え雑木の侵入も認められ、人力、農業用機械、重機による作業が必要。また、石礫も多く、その除去作業が必要。

**取組概要**

対象面積：1.2ha(田畑)

実施期間：平成21年7月10日～平成21年8月31日

取組のきっかけ：地域協議会が、近隣集落の営農組織へ本制度を活用したソバと菜の花の作付による耕作放棄地の再生利用案を提案したところ、地域の活性化にもつながるとして営農組織を中心に集落を挙げて取り組むこととなった。

調整経緯：地域協議会が営農組織及び所有者の意向を確認するなど、実施に至るまでの調整を行った。

取組主体：営農改善組合(予定作物：ソバ、菜の花等)

作業内容：刈払、抜根、整地等(重機をリース、農機メーカーの協賛)

**今後の予定**

再生作業を終了し、9月中旬には資源作物として菜種を播種。来年度は、試験的に菜種の収穫後に秋ソバを播種する二毛作を実施し、農地の有効利用と併せて、良好な景観形成による地域の活性化に取り組む。



再生作業前



再生作業実施中



再生作業後

問い合わせ先：福島県耕作放棄地対策協議会 024-521-7415(直通)(福島県農村振興課)